

F-35A戦闘機の嘉手納基地への暫定配備に断固反対する意見書

平成29年10月24日、米太平洋空軍は米ユタ州ヒル空軍基地所属のF-35AライトニングII戦闘機12機と約300人の航空兵を11月上旬から半年間、インド洋・アジア・太平洋地域では初めて嘉手納基地に暫定配備すると発表し、10月30日に2機、11月2日に10機が飛来した。今回の暫定配備は将来的に嘉手納基地へ配備の可能性も指摘されていることから、拠点化に向けた布石との見方もあり町民には動揺が広がっている。

F-35戦闘機は他機種と比べ騒音が激しく、訓練を開始した11月7日の騒音発生回数等データによると、屋良測定局では100デシベル超えが5回、90デシベル台45回、80デシベル台64回を計測し、激しい騒音に対し住民から多数の苦情や怒りの声が寄せられ、さらに嘉手納高校においては、授業が断続的に中断されるなど教育環境へも影響を及ぼしている。

近年、米軍の傍若無人な嘉手納基地の運用は受忍限度をはるかに超え、平成27年1月にウィスコンシン州軍のF-16戦闘機が外来機として訓練し、同年6月にバーモント州軍、同年10月にはオクラホマ州軍、今年5月にはコロラド州軍が相次いで暫定配備されるなど、深夜早朝構わず轟く騒音は平穏な日常生活を破壊しており、町民の怒りは爆発寸前に達している。

また、F-35戦闘機は米本国において飛行中に操縦士が低酸素症に似た症状を訴えるケースが多発し、飛行停止措置が取られ安全面においても懸念されるなど、いつ墜落するかわからない同型機の配備は到底容認することはできず即時撤退を強く求めるものである。米軍再編により嘉手納基地の常駐機F-15戦闘機等が県外、国外にて訓練を行う間も、今回と同様に外来機が長期間にわたり配備され飛行訓練を強行し、騒音被害が増大している実態に対し強い憤りを禁じ得ない。日米両政府は町民の切なる願いに真摯に耳を傾け、平成18年の米軍再編ロードマップで合意された嘉手納飛行場の負担軽減を真に実現すべく、速やかに取り組みを強化することを強く求める。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、F-35A戦闘機の嘉手納基地への暫定配備に断固反対し、下記事項の速やかな実現を図るよう強く要求する。

記

- 1 F-35A戦闘機の嘉手納基地での飛行訓練を中止し、即時撤退させること。
- 2 全ての外来機の嘉手納基地への飛来を禁止すること。
- 3 騒音防止協定を遵守し、航空機騒音の軽減を図ること。
- 4 嘉手納基地の負担軽減を速やかに実施し、これ以上の機能強化を中止すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年11月10日
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 内閣官房長官 (沖縄基地負担軽減担当)
沖縄及び北方対策担当大臣 外務省特命全権大使 (沖縄担当) 沖縄防衛局長
沖縄県知事

F-35A戦闘機の嘉手納基地への暫定配備に断固反対する抗議決議

平成29年10月24日、米太平洋空軍は米ユタ州ヒル空軍基地所属のF-35AライトニングII戦闘機12機と約300人の航空兵を11月上旬から半年間、インド洋・アジア・太平洋地域では初めて嘉手納基地に暫定配備すると発表し、10月30日に2機、11月2日に10機が飛来した。今回の暫定配備は将来的に嘉手納基地へ配備の可能性も指摘されていることから、拠点化に向けた布石との見方もあり町民には動揺が広がっている。

F-35戦闘機は他機種と比べ騒音が激しく、訓練を開始した11月7日の騒音発生回数等データによると、屋良測定局では100デシベル超えが5回、90デシベル台45回、80デシベル台64回を計測し、激しい騒音に対し住民から多数の苦情や怒りの声が寄せられ、さらに嘉手納高校においては、授業が断続的に中断されるなど教育環境へも影響を及ぼしている。

近年、米軍の傍若無人な嘉手納基地の運用は受忍限度をはるかに超え、平成27年1月にウィスコンシン州軍のF-16戦闘機が外来機として訓練し、同年6月にバーモント州軍、同年10月にはオクラホマ州軍、今年5月にはコロラド州軍が相次いで暫定配備されるなど、深夜早朝構わず轟く騒音は平穏な日常生活を破壊しており、町民の怒りは爆発寸前に達している。

また、F-35戦闘機は米本国において飛行中に操縦士が低酸素症に似た症状を訴えるケースが多発し、飛行停止措置が取られ安全面においても懸念されるなど、いつ墜落するかわからない同型機の配備は到底容認することはできず即時撤退を強く求めるものである。米軍再編により嘉手納基地の常駐機F-15戦闘機等が県外、国外にて訓練を行う間も、今回と同様に外来機が長期間にわたり配備され飛行訓練を強行し、騒音被害が増大している実態に対し強い憤りを禁じ得ない。日米両政府は町民の切なる願いに真摯に耳を傾け、平成18年の米軍再編ロードマップで合意された嘉手納飛行場の負担軽減を真に実現すべく、速やかに取り組みを強化することを強く求める。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、F-35A戦闘機の嘉手納基地への暫定配備に断固反対し、下記事項の速やかな実現を図るよう強く要求する。

記

- 1 F-35A戦闘機の嘉手納基地での飛行訓練を中止し、即時撤退させること。
- 2 全ての外来機の嘉手納基地への飛来を禁止すること。
- 3 騒音防止協定を遵守し、航空機騒音の軽減を図ること。
- 4 嘉手納基地の負担軽減を速やかに実施し、これ以上の機能強化を中止すること。

以上、決議する。

平成29年11月10日
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

駐日米国大使 太平洋空軍司令官 在日米軍司令官 在沖米四軍沖縄地域調整官
在沖米国総領事 嘉手納基地第18航空団司令官 沖縄県議会議長